

対象国の条件：職業訓練分野に関する協力プログラムがあること

研修コース番号：(A) 201984350-J002/(B) 201984357-J002/(C) 201984360-J002

案件番号：(A) 201984350/(B) 201984357/(C) 201984360

主分野課題：教育/職業訓練・産業技術教育

副分野課題：

使用言語：(A) 英語/(B) 仏語/(C) 西語

案件概要

開発途上国の産業界のニーズに対応した「産業人材」の育成は、経済社会発展の重要なファクターであり、所得向上・貧困削減に寄与するものである。開発途上国が我が国の職業訓練施設の運営・管理及び訓練コース開発手法を学び、自国の職業訓練施設の現状及び問題点を比較検討し、自らその改善を行うことができるようにすることは、職業に直結する職業訓練の拡充及び産業人材の育成促進に大きく寄与する。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

参加者が我が国の職業訓練施設の現状や課題及びその改善のための取組みを理解し、職業訓練施設の運営・管理のノウハウ或いは職業訓練コースの運営・管理手法等を習得するとともに、自施設の問題点・課題等を洗い出し、その解決・改善に向けた、具体的なアクションプランを作成する。

【成果】

1. 経済社会の変化に対するへの対応及び職業訓練の運営・管理システムについて理解し、説明できるようにする。
2. 公共職業訓練における官民連携の進め方について理解する。
3. PDCAサイクルによる訓練コースの運営・管理手法を習得する。
4. 日本の職業訓練施設の事例から就業率を高めるための取組みを理解する。
5. 職業訓練施設の総合的運営・管理のあり方と活動について理解する（管理者）。カリキュラム開発手法を習得する（指導員）。
6. 自施設の問題点・課題を現状分析し、解決・改善のためのアクションプランを作成する。

【対象組織】

公共職業訓練機関

【対象人材】

校長又はこれに相当する職責の者で訓練施設勤務歴15年以上で管理者として3年以上の経験があり、工学系大学卒業又はこれに準ずるもので、本研修で使用する言語に堪能な50歳までのもの

又は

学科長などの管理的な立場にある職業訓練指導員で8年以上の工業分野での指導員経験があり、大学卒業又はこれに準ずるもので、本研修で使用する言語に堪能な30歳～45歳までのもの

内容

【事前活動】

自国の職業訓練の現状及び自分が所属する職業訓練施設についてのジョブレポート作成。

【本邦研修】

次の内容の講義、演習、討論、視察。

- (1) 日本の職業訓練体系、現状、特長、課題
- (2) 官民連携の展開及び手法
- (3) PDCAサイクルによる訓練コースの設計・運営・管理・評価
- (4) 職業訓練施設（公共・民間）の運営・管理（管理者）。カリキュラム開発及び効果的な職業訓練指導の進め方（指導員）。
- (5) アクションプランの作成・発表・討議

本邦研修期間

- (A) 2019/6～2019/7
- (B) 2020/2～2020/3
- (C) 2019/10～2019/11

担当課題部

人間開発部

所管国内機関

- (A) JICA横浜
- (B) JICA横浜
- (C) JICA九州

関係省庁

厚生労働省

実施年度

2019～2021

主要協力機関

(A) 調整中/(B) 調整中/(C) 調整中

**特記事項
及び
ホームページ**

英語によるコースのほか、仏語及び西語コースを設定する。